

# カーボンニュートラルの実現に向けて提言などを公表

## 1 今後のエネルギー政策に関する提言

中経連は、エネルギー・環境委員会(委員長:勝野副会長)において、提言書「今後のエネルギー政策に関する提言～2050年カーボンニュートラルの実現に向けた議論の進め方に対して～」を取りまとめ、3月9日(火)に公表した。本提言は、国が「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の深掘りした議論を進める上での留意事項などについて、意見するものである。提言の内容が国の議論に反映されるよう、関係各所に説明ならびに要望を行っていく。

### 提言内容

1. 中期、長期的なマイルストーンと各主体ごとの役割を明確にした包括的なロードマップを作成すること
2. コスト上昇を社会全体で負担する仕組みと情報発信を行うこと
3. エネルギー需給に関わる構造の転換をするにあたり、既存技術も活用しながら、事業者が無理なく対応できるよう、規制緩和や人材育成も考慮して取り組むこと
4. カーボンプライシングに対する包括的な議論をすること
5. 経済界との十分なコミュニケーションを図りながらロードマップの作成や見直しを進めること

## 2 マイクログリッド導入ハンドブックを発刊

中経連は、マイクログリッドワーキンググループ(エネルギー・環境委員会の下部組織)において、「マイクログリッド導入ハンドブック～分散型エネルギーの地産地消による省エネ・省CO<sub>2</sub>、レジリエンス向上など、地域課題の解決に向けて～」を作成し、3月9日(火)に公表した。中経連では、再生可能エネルギー発電や蓄電池など、分散型エネルギーリソースをデジタル技術で統合し運用するマイクログリッドの社会実装に向けた取り組みを進めており、本ハンドブックは、自治体や企業による導入検討に活用いただくことを目的に発刊したものである。



## 3 6経済連合会による共同提言

中経連は、関西経済連合会、九州経済連合会、四国経済連合会、中国経済連合会、北陸経済連合会と共同で、提言書「エネルギー基本計画の見直しに向けた意見 ～我が国のグリーン成長と脱炭素社会の実現を目指して～」を取りまとめ、3月9日(火)に公表した。本提言は、2030年エネルギーミックスの堅持と2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みについて見解を示すものである。

### 基本的な考え方

1. S+3Eは不変の原則
2. 革新的なイノベーションが必要
3. 脱炭素社会に着実に移行するシナリオも重要

問い合わせ先:防災・環境部

内容の詳細については、中経連ホームページ(<https://www.chukeiren.or.jp>)をご覧ください